

長崎の林業

小曽根星堂書



地域森林整備の核となる林業専用道「鷲ノ岳線」^{おしのだけ}（平戸市草積町）

6

目次

●林政だより	県民の暮らしを守る治山事業 ～山地災害に備えよう～……………2～3
●特集記事	島原から世界へ発信！ 新しい風を呼び込む若き伝統的工芸品職人 島原手打刃物「好光鍛冶屋」 井手 淳一さん……………4～5
●林業普及だより	来たれ！林業現場へ！ （新規林業就業者確保へ向けた取組）……………6
●地方だより・県北	平戸市森林組合 木質チップボイラーの稼働……………7
●地方だより・対馬	乾しいたけ審査会 開催……………8
●林業団体情報	森林館に新しい遊具が仲間入りしました！……………9
●センターだより	雲仙普賢岳水無川水系のガリー侵食……………10
●紹介コーナー	canvas（キャンパス）木工房……………11
●長崎の山：英彦山385.6m（長崎市）	……………12

「長崎の林業」は、ながさき森林環境税により発行しています。



No.789

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！

ながさき森林環境税の取組についてはこちら→



森林ボランティアに興味のある方はこちら→



FREE

ご自由にお持ち下さい。

「長崎県庁」のホームページ「広報」→「県の発行物」からもご覧いただけます。

林政だより

県民の暮らしを守る治山事業 ～山地災害に備えよう～



南島原市 きたあり まちょう 北有馬町 たひら 田平地区（治山事業施工事例）

はじめに

近年、豪雨等による山地災害が頻発しています。特に「令和2年7月豪雨」では、7月7日大村市において24時間雨量384.0mmという観測史上1位の記録が確認されたのをはじめ、県内各地で土砂崩れなどの災害により、人的・建物・農林業関係被害が発生しました。

長崎県は、年間平均降水量が1,858mmと全国平均1,609mmよりも多く、特に梅雨期や台風時には集中豪雨が頻繁に発生し、それに伴い山地災害も多く発生しやすい傾向となっています。このような中、災害の未然防止のためには、治山ダム工や土留工等、治山施設の設置や早期の避難が被害を最小限に抑えることに繋がります。

県民の暮らしを守る治山事業

県では、山地災害の復旧・予防のために治山事業を進めています。

治山事業とは、県民の安全・安心な暮らしのため、災害の防備等、公益的機能のある重要な森林を保安林に指定し、その森林の機能を維持保全するために実施する公共事業です。

山地災害危険地区について

県では、図1のような危険箇所を「山地災害危険地区^{※1}」として判定し、県のホームページ「長崎県総合防災ポータル」長崎県総合防災GIS^{※2}に掲載しています。お住まいの地域を確かめて災害に備えていただくようお願いいたします。



平戸市 しゅうしちやう 主師町 しらいし 白石地区
（治山事業施工中）
（令和2年7月豪雨による被災箇所）

自助・共助の意識を高めて減災！

災害を未然に防ぐためには、自らを守る自助と周辺の方々と協力し合う共助による自主防災が、現在最も効果を発揮します。

そのためには、普段から家族や地域ぐるみで災害発生危険箇所や避難場所、避難経路について十分話し合い、実際に自分の目で確認することが大切です。避難場所については、山地災害危険地区と同様に長崎県総合防災GISで確認が出来ます。

また、異常時の変化に気づく目を養うことも重要です。山地災害の兆候としては、図2に示すような現象のほか、不審音の発生が挙げられます。

山地災害の発生はいつ起きるか分かりません。近隣の山林などで異変を感じたらすぐに避難し、災害が発生した場合は、すぐに「110番」か「119番」に通報しましょう。

(森林整備室 治山班)

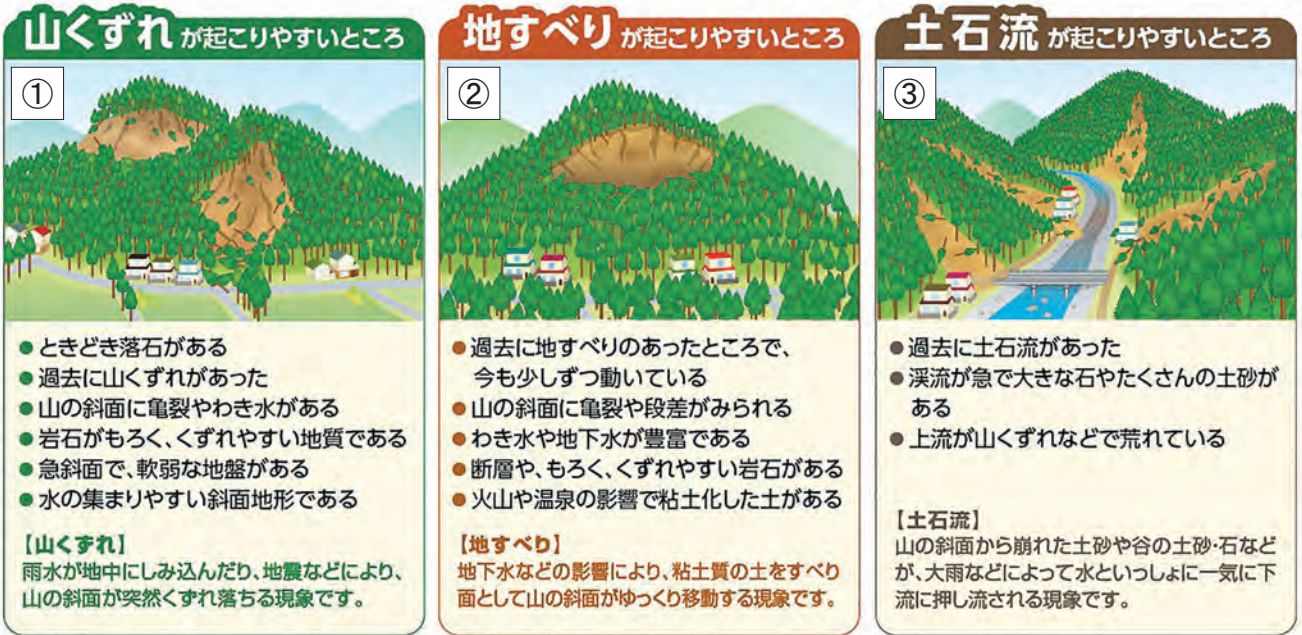


図1 山地災害危険地区のイメージ



図2 山地災害の危険信号の例

※1 山地災害危険地区 崩壊等により公共施設や人家に被害を与える恐れのある地区を示したものであり、開発行為などの制限を行うものではありません。

※2 長崎県総合防災GIS <http://www.pref.nagasaki.jp/sb/gis/index.php>



【特集記事】
島原から世界へ発信！

新しい風を呼び込む若き伝統的工芸品職人 島原手打刃物「好光鍛冶屋」 井手 淳一さん

島原手打刃物「好光鍛冶屋」三代目鍛冶職人 井手 淳一さんと奥様の睦子さん

古くから水の都として知られる島原市。市内各所に約70ヶ所もの湧水スポットが点在しており、昭和56年に現在の国土交通省から「水緑都市モデル地区」に指定されました。また昭和60年には環境庁の「全国名水百選」に選定され、1日約20万トとも言われる豊富で質の良い湧水は、飲用水や生活用水、産業用水として今でも広く利用されています。今回はこの良質な湧水を使い、長崎県が誇る伝統的工芸品の技を守り続けている若き鍛冶職人、井手淳一さんと奥様の睦子さんにお話を伺いました。

古くから続く刃物鍛冶職人として

島原城から程近い桜門町さくらもんまちに、今年で創業84年目を迎える島原手打刃物の製作所があります。近所の方が気軽に立ち寄り、それぞれの使い勝手に合わせた様々な刃物の注文を入れていく、そんな昔ながらの町の鍛冶屋さんとして愛されているのがここ「好光鍛冶屋」です。こちらで亡き父の跡を継ぎ、三代目鍛冶職人として日々鋼と炎に向き合っているのは井手淳一さん。

現在40代前半の若き鍛冶職人さんです。

島原で江戸時代から九代続く老舗「鍛冶屋吉光」より、祖父の代に暖簾分けをしてもらい現在に至ります。井手さんの祖父は15歳で「鍛冶屋吉光」に弟子入り、その後修行を積み重ね、その腕前を見込まれ本家と同じ島原の地で独立することを許されたそうです。祖父から父へ受け継がれた伝統の技は今も淳一さんの手で守られています。



(左) 鍛造 高温の炉で鉄を鍛え上げる工程
(右) 成型 グラインダーで削る工程

島原手打刃物の特徴を活かして

県内には刃物の産地が大きく分けて3か所あり、いずれもその土地に古くから根付いた特徴があります。島原刃物は主に農機具と

包丁が有名で、好光鍛冶屋では現在 200 種類ほどの刃物を扱っており、鋏だけで約 100 種類、包丁も約 70 種類あるそうです。山、畑、海、家庭など使う場所はそれぞれ違いますが、要所・用途に合わせた道具は、これまでの顧客からの要望や、地域性に合わせて形を変えるなどの工夫に溢れています。



代々引き継がれる好光自慢の手打刃物

若いご夫婦の感性が光る一品

古い伝統の技を引き継ぐ淳一さんですが、6 年程前から新しい挑戦を始めました。身近にある地元の木材を使ったオリジナル刃物の製作です。好光鍛冶屋の柄木（刃物の柄に使う木材）は、昔から福岡の製材所に依頼してきました。包丁の柄は主にホウの木、鋏には軽く年配の方でも持ちやすいシイ、鉋には強度のあるカシ、石を打つ破鋸にはしなりが強いグミなど樹種の適性を活かし、使い勝手の良さを一番に考えた製作を行っています。そんな中、偶然知り合いから貰ったサクラで柄木を作り成型した所、大変風合いの良い作品が出来たそう。原木を削り磨き上げ、柄木に成型したのは奥様の睦子さん。これを機に柄木と革製の専用ケースの製作は全て睦さんが引き受け、夫婦二人三脚の新しい作品作りが始まりました。



樹種の性質と木目を見極め、削り磨き上げる
右の写真はサクラを使用したキャンプナイフ

ここ数年で手掛けた材はサクラ、マツ、キンモクセイ、ミカン、クヌギ、カエデ、ハゼなど多岐に亘りどれもがオリジナリティ溢れる作品に仕上がっています。通常は無垢材を使用しますが、現在挑戦中なのが、木材に樹脂を染み込ませるスタビライズウッド、特殊なレジンを含め磨き上げるレジンウッドです。大変な時間と手間がかかるものですが、奥様の手にかかると魔法のように美しい作品に生まれ変わります。



（左、中）スタビライズウッド使用の作品
（右）レジンウッドの柄木 材はキンモクセイ

SNSで世界へ伝える伝統的工芸品

先日ご夫婦が挑戦を始めた SNS のライブ配信を拝見しました。北海道を始め各地から色々な質問がリアルタイムで寄せられ、その一つ一つにご夫婦が丁寧に回答されていました。SNS 上でも「作り手と話をしながら購入してもらいアフターフォローも真摯に対応する。」「メリットデメリットを正直に伝え信頼を得る。」というスタイルは、実は昔ながらの店舗販売と同じで、SNS というツールにより販売窓口が一気に広がったことを実感した時間でした。今出来ることに挑戦し続けたいというお二人、今後も長崎県産材を使った新作に挑戦したいと意気込みを話されていました。昨年はアメリカで原木柄木を作る職人さんから、淳一さんの作る手打刃を使った作品を製作をしたいとオファーが届き、日米合作の動きも始まりました。アメリカを始め、台湾、ニュージーランドなど、長崎の県産材を使った新世代の島原刃物は今、海を渡り世界へと飛び立っています。

（NPO 法人地域循環研究所）

林業普及だより

来たれ！ 林業現場へ！ (新規林業就業者確保へ向けた取組)

5月からNHKで放送されている連続テレビ小説「おかえりモネ」は森林組合を舞台に主人公「永浦百音」をとおして森林のすばらしさ、また森林を育てる林業のすばらしさが伝えられています。ドラマを見て、森林組合って何？山（自然の中）での仕事って何だか楽しそう！と思われた方もいるのではないのでしょうか？

そんな山の仕事に興味を持たれた方々のために、林業団体や県では林業のガイダンスや林業体験会などを開催しています。

① 森林の仕事ガイダンス



ガイダンスの風景

「林業の仕事って何だろう？」と興味をもたれた方は、まずは『森林の仕事ガイダンス』におこし下さい。実際、山で働いている方の生の声を聞くことができます。また、チェーンソーVRにより伐採の疑似体験などもできます。

県内では、9月頃に諫早市と佐世保市で2回、開催する予定です。

問合せ先：長崎県森林組合連合会
(tel : 0957-27-1755)

② 一般見学会、おためし林業体験、島での林業ファームステイ

「一度、林業を体験してみたいな」、「離島での生活を体験しながら林業現場を知りたいな」という方は、ぜひともご参加下さい。

山の空気を吸いながら、最先端の林業機械の操作も体験できます。

問合せ先：(一社)長崎県林業協会
(tel : 0957-25-0184)



おためし林業体験

事業名	内容	開催時期	場所	備考
一般見学会	「間伐」現場での林業機械等を見学	12月	諫早市	無料
おためし林業体験	実際に働いている人の案内で林業機械操作等の体験	随時受付	県内各地	無料
島での林業ファームステイ	離島での生活を体験しながら林業の現場の見学・体験	随時受付	対馬・壱岐・五島	無料(宿泊費相当を支給)

※受入先までの交通費は自己負担となります。

③ 高校生等への就業への取組

高校生等の新規就業の促進を目的として、林業の認知度向上のための説明会や就業体験を実施しています。

問合せ先：県林政課
(tel 095-895-2990)



諫早農業高等学校におけるインターンシップ

最後に

ご存知のとおり、林業は森林を守り育てることから立木を伐採するなど危険と隣り合わせの作業です。しかしながら、それ以上に“やりがい”のある仕事でもあります。林業に興味のある方は、まず、ガイダンス等に参加していただき、正しい知識を学び、林業への参入をご検討いただければと存じます。

(林政課 普及指導班)

地方だより

平戸市森林組合 木質チップボイラーの稼働



最近よく耳にするカーボンニュートラル（脱炭素社会）をご存知ですか？

昨年10月26日の菅内閣総理大臣による所信表明演説において、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現を目指す」と宣言し話題となりました。

カーボンニュートラルとは、人類が生活するうえで排出されるCO₂をはじめとした温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量を差し引いてゼロにすることを意味しています。

そうした中、平戸市において2014年に、県内でいち早く「CO₂排出ゼロ都市宣言」を行い、再生可能エネルギーの導入に取り組んでおり、そのひとつとして、市内に豊富に存在する森林資源の有効活用を図るため、「木質バイオマスエネルギー導入計画」が策定されています。

本計画の実証事業として、昨年11月に平戸市森林組合に小型木質チップボイラー3基（500kw×1、200kw×2、ETA社（オーストリア））が設置され、同組合にて生産される菌床しいたけ栽培時の暖房として利用されています。

従来の重油ボイラーから木質チップボイラーに切り替えることにより、脱炭素化だけでなく、燃料代削減効果も期待されています。

今後5年間でチップの使用量や燃焼効率・電気代など費用対効果を検証することになっています。

長崎県では、持続可能な社会をめざして、積極的な温室効果ガス排出量削減の取り組みにあわせて、森林による吸収量を増加させるための森林の間伐・再造林を推進していきます。

（県北振興局 林業課）



地方だより

乾しいたけ審査会 開催



審査状況（グラム物）



名人位（永尾賢一氏）

乾しいたけ品評会・審査会とは

対馬の特産品である原木乾しいたけの需要拡大・生産技術向上を図ることを目的に、5月13日（木）にシャインドームみね、JA峰事業所にて審査会を行いました。

審査部門は4銘柄（どんこ・花どんこ・香信厚肉・香信中肉）、2区分（グラム物：重さ750g以上・箱物：大箱規格箱に満杯詰め）があり、形状や色、大きさ、香り、乾燥具合等の項目について審査されます。

例年、審査会にて受賞者を選出し、品評会の式典で表彰を行っていますが、コロナ禍の中、表彰については、今後の社会情勢等をふまえて、改めて行う予定です。

“審査結果”について

今年の作柄については、昨年の台風被害・秋子※1時期の少雨等の影響により生産量が減少し、生産者にとって厳しい条件の年となりました。

しかし、生産者の方々の熱意により、グラム物115点、箱物15点、計130点の出品がありました。他にも、菌傘の直径が7cm以上のジャンボしいたけも4点出品されました。

農林水産大臣賞を受賞された原野貢さんの「どんこ」箱物は、品柄が揃っており、色つやも鮮明で、巻き込みやボリューム感等、高く評価されました。原野さんは「香信厚肉」と「香信中肉」でも特別賞を受賞され、生産技術の高さが光りました。

さらに、名人位（審査対象外）である永尾

※1 秋に発生するしいたけ

賢一さんは「花どんこ」箱物部門で唯一の出品となり、審査員一同「さすが名人！」と感嘆の声を上げるほど素晴らしい作品でした。

特別賞受賞者一覧表

区分	氏名	居住地	部門	
			銘柄	区分
農林水産大臣賞	原野 貢	上県町	どんこ	箱物
林野庁長官賞	原野 貢	上県町	香信厚肉	箱物
	波田 裕一郎	豊玉町	香信中肉	グラム物
長崎県知事賞	吉田 永	厳原町	どんこ	箱物
	原野 貢	上県町	香信中肉	箱物
	吉田 永	厳原町	どんこ	グラム物
	原野 貢	上県町	花どんこ	グラム物
	乙成 修平	上県町	香信厚肉	グラム物



どんこ



花どんこ



香信厚肉



香信中肉

終わりに・・・

入賞された方々は高品質なしいたけを作るため、明るさや風通しなどのほだ場の管理や発生促進作業に並々ならぬ努力を重ねられており、今回その努力が成果として評価されました。この審査会を通して、出品者・入賞者はもちろん、多くの生産者にとってもさらなる生産意欲の向上へ繋がることを期待します。

（対馬振興局 林業課）

林業団体情報

森林館に新しい遊具が仲間入りしました！

日ごろより、長崎県民の森をご利用いただき、ありがとうございます。

(一社)長崎県林業コンサルタントは、平成18年度から長崎県民の森の指定管理者として運営・管理に取り組んでおり、令和2年度に、長崎県民の森指定管理業務15周年を迎えました。

今回、それを記念し、令和3年4月に長崎県民の森 森林館に木製遊具を寄贈させていただきました。

寄贈した遊具は「トンネル遊び」、「ジグザグ平均台」、「パクトス」の3種類で、東彼杵町のP. toysさんに作成いただいたものです。

雨の日に子供達が遊べる場所が少ないのが長崎県民の森の悩みどころでありましたが、今回の木製遊具の追加により、新たに子供達が楽しめる場となることを祈っております。



パクトス

4月12日には県(綾香農林部長)に、遊具の贈呈と日ごろの指定管理業務についての報告を行いました。



遊具贈呈式の様子

今後も引き続き、お客様目線にたった運営、管理を行ってまいります。皆様ぜひ、長崎県民の森へお越し下さい。

((一社)長崎県林業コンサルタント)



トンネル遊び



ジグザグ平均台 (広げて使用)

センターだより

雲仙普賢岳水無川水系のガリー侵食

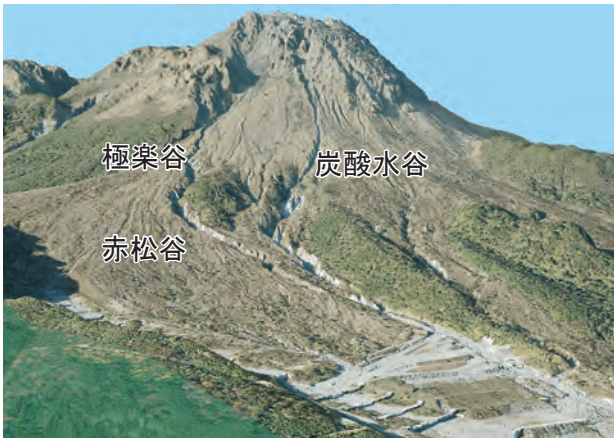


図1 雲仙普賢岳 3D-GIS 画像 (R1.11)

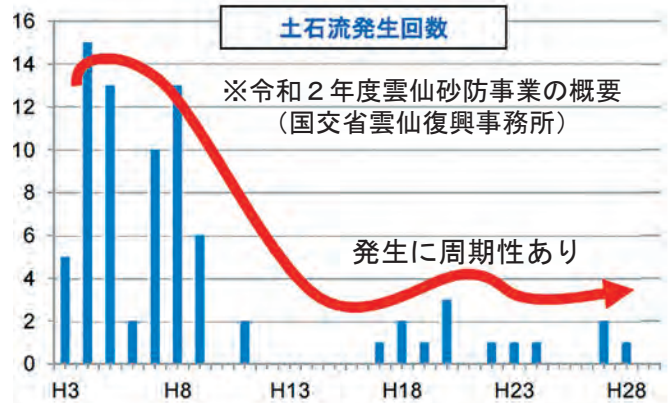


図3 土石流発生周期

はじめに

平成2年11月、198年ぶりに再活動した雲仙普賢岳は平成7年に活動が沈静化したものの、降雨のたびに土石流が頻発していました。

現在では、大規模な治山ダム群や砂防ダム群に加え、大規模な航空緑化工により斜面からの土砂流出が抑えられています。しかしながら、水無川水系の極楽谷、炭酸水谷では未だにガリー（侵食谷）の縦横侵食が激しく、大規模な土石流を発生させるおそれがあります。

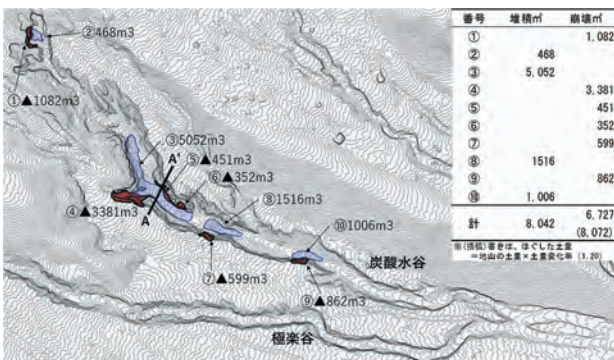


図2 R2単年のガリー変化（赤：崩壊、青：堆積）

ガリー内の堆積土砂量の計算

航空レーザーデータとドローン地形データの比較からガリー内の崩壊位置の特定と土砂量を計算すると、令和2年単年の崩壊・堆積は極楽谷なし、炭酸水谷で8000 m³と確認できました（図2）。

土石流発生規模の予測（今後の取組）

土石流発生回数を見ると平成29年以降の4年間で発生しておらず（図3）、ガリー内では4年分の土砂が蓄積されています。なお、単年では3.5 m堆積している箇所もあります（図4）。

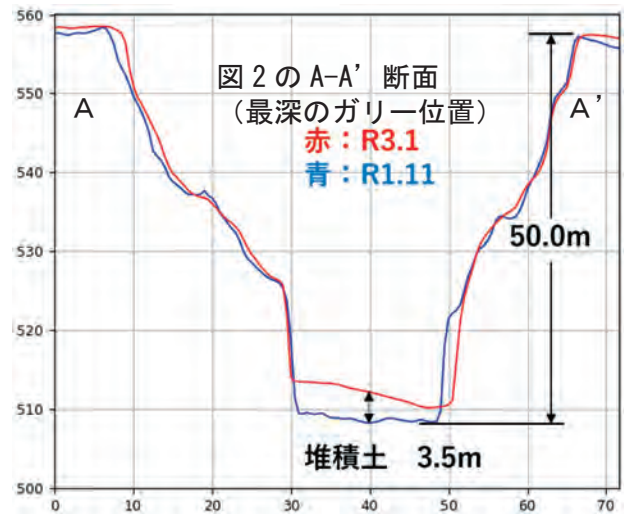


図4 R2単年の土砂堆積

現在、センターでは土石流の発生予測モデル式を検討しています。これは、過去の堆積土砂量と降水量を基に、次回発生する土石流の規模を推定することなどに利用できると考えています。

（農林技術開発センター）

紹介コーナー canvas (キャンバス) 木工房



こちらの変った形の建物、何を模しているかお分かり頂けますか。窓が目、玄関の屋根はくちばし…答えはミミズクです。この一風変わった不思議な建物の正体、実は木工房兼展示場です。南島原市にある社会福祉法人コスモス会が運営する「canvas 木工房」は外見のユニークな姿はもちろんのこと、内装には見事な竹を組み合わせて作った天井絵と壁一面に描かれた松が大変印象的で、全てが手作りというこだわりいっぱいの施設です。今回はこちらで作品を創っている本多祐輔さんにお話しを伺いました。canvas で創る作品は実に大小様々。オーダーメイドの椅子やテーブルなどの家具の他、工夫を凝らしたアウトドアグッズやカトラリーなどアイデア

溢れる作品が並んでいます。材料となるメインの木材はヒノキ、スギ、ケヤキなど、その他にもイチョウやキリ、カイツカイブキ等も使うそう。公園の木の伐採で不要になったもの、廃校となった市内の学校から譲り受けたもの、建築端材などから日々新しい作品が生まれています。なるほどが詰まったオリジナルの作品とこだわりの内装。一度可愛らしいミミズクの内側を覗いてみませんか。



竹を組んだ松の壁画と木の温もり溢れる作品

社会福祉法人コスモス会 canvas

住所：長崎県南島原市深江町戊 1938-2

電話：0957-65-1212

定休日：毎週日曜日

営業時間：9:00 ~ 16:00

伊万里木材市況

【ヒノキ】

令和3年5月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16~18	直	29,300	少ない	多い	多い
	16~18	小曲り	28,600	少ない	多い	多い
	20~22	直	24,500	少ない	多い	多い
	20~22	小曲り	23,000	少ない	多い	多い

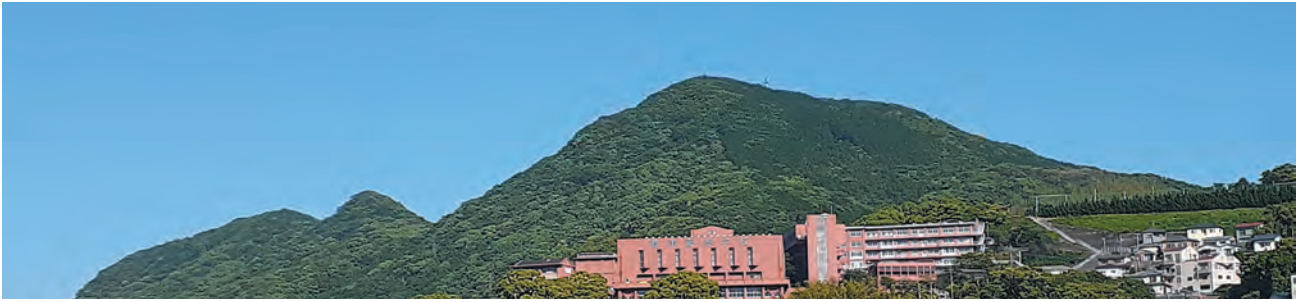
【スギ】

令和3年5月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	18~22	直	17,000	普通	多い	多い
	16~22	小曲り	14,000	普通	多い	多い
	24~28	直	17,000	普通	多い	多い
	24~28	小曲り	14,000	普通	多い	多い

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

長崎の山：英彦山 385.6 m（長崎市）



長崎市馬町方面からみた英彦山

長崎市の中心に位置する英彦山は、標高385.6m。稲佐山（332.9m）より少し高い山です。古くから山岳信仰の山であり、周囲には寺院や神社が多くあります。四方に登り口があり気軽に登山ができる為、今もなお市民から愛されている山の一つです。頂上付近からは茂木港や八郎岳、稲佐山、長崎の市街地から女神大橋まで一望でき、坂の街長崎の景色を見渡すことができます。



頂上から見える景色（長崎港側）

山の東側には特に竹が多く、中腹まで竹林が続いています。昔は竹材やタケノコの生産など竹の利用が盛んだったようですが、所々に竹林の荒廃化が進んできています。英彦山の山すそ田手原町にある森林ボランティア登録団体 NPO 法人環境保全教育研究所が荒廃竹林の問題に地域と連携し取り組んでおり、竹のチップ化や炭化で竹材を活用しているところで竹林が徐々に整備されています。

英彦山の森林は水源かん養保安林や土砂流出防備保安林として指定されています。山の麓には長崎市の重要な水を供給する本河内水源地があり、森林の多くの恵みをもたらし、人々の暮らしを支えています。

ところで、英彦山の名称に「英」と付くのは何故かご存知でしょうか。もともとの山の名前は「霊山」といい、その後「日子山」になったそうです。平安時代に入り「日子」が「彦」

に改められ、「彦山」になり、更に約1000年の年月を経た江戸時代には、「英」の尊号を受けて「英彦山」と改められたということです。日本人がいかに山に敬意を表し、大事にしていたことがうかがえます。

季節ごとに様々な表情を見せる英彦山ですが、4月から8月頃英彦山神社付近には珍しいギンリョウソウが見られるそうです。全長10cmほどの小さな花で、高山の湿った土の上にひっそりと生えており、青白く咲く姿が幽霊に似ていることから、「幽霊花」とも呼ばれ、日常ではなかなか見つけることのできない花です。この時期の登山の楽しみの一つになりそうです。



ギンリョウソウ（ツツジ科）

保安林とは

水源のかん養、土砂の流出の防備・その他の災害の防備、生活環境の保全などの森林のもつ公益的機能を十分に発揮させるため、伐採や開発に制限を加える森林のことを言います。目的に合わせて17種類の保安林が定められています。

（NPO 法人地域循環研究所）

長崎の林業 6月号 第789号
編集・発行 長崎県林政課
住所：長崎県長崎市尾上町3番1号
電話：095-895-2990
ファクシミリ：095-895-2596
メールアドレス：
s07090@pref.nagasaki.lg.jp